

奈良県南部地域をより安全に

一般国道168号 五條新宮道路（地域高規格道路）辻堂バイパスの全線開通！
～『命の道』の整備により、五條・新宮間がさらに安全で快適に～

平成30年3月18日に辻堂バイパスが全線開通となります。

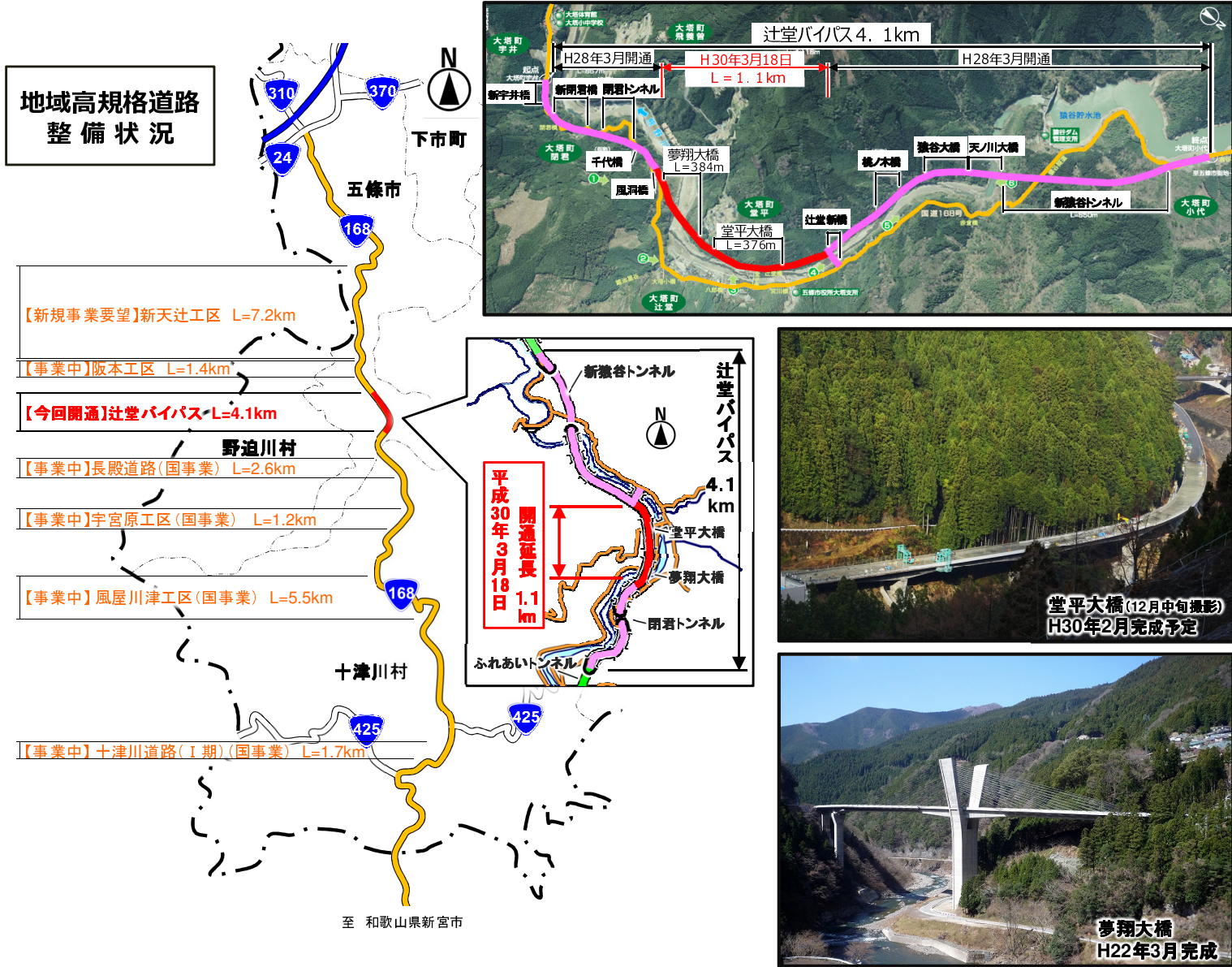
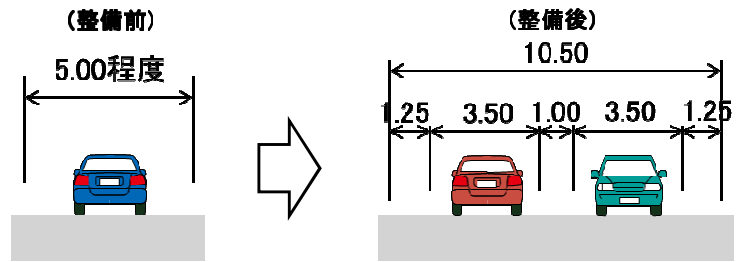
この開通により、

- ・南海トラフ巨大地震等の災害を見据えた、通行止めや大幅な迂回を回避できる道路ネットワークの強化
- ・救急医療施設へのスムーズなアクセス
- ・県南部地域へのアクセス強化による地域の活性化への貢献などの効果が期待されます。

事業概要

事業区間：五條市大塔町宇井～小代
 今回開通区間：五條市大塔町辻堂～堂平
 事業着手：平成11年度
 事業延長：L=4.1km
 今回開通延長：L=1.1km
 幅員：W=10.5m

標準断面図

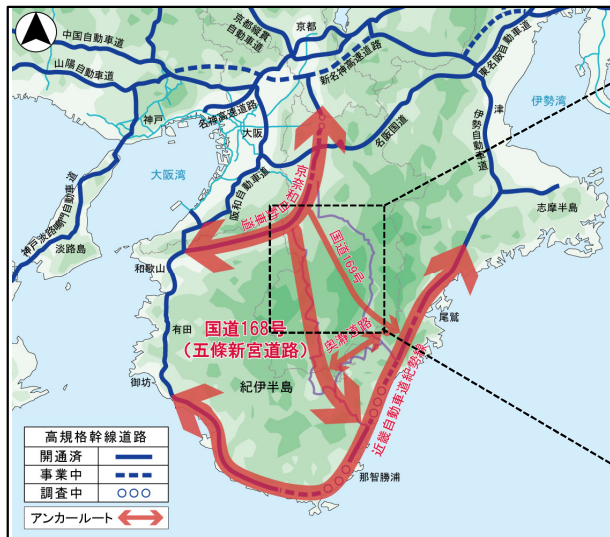


災害による通行止めや大幅な迂回の回避

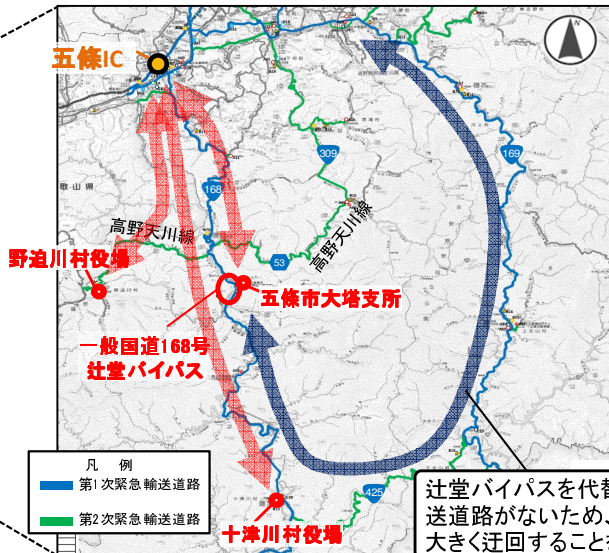
- バイパス道路を整備することで、大規模災害時に被災する恐れのある現道を回避することにより、**安全な通行を確保**します。
- 早期整備が望まれている紀伊半島アンカールートの一部が完成することにより、円滑な避難、救援および**迅速な復旧活動が可能**となります。

紀伊半島アンカールートの整備

紀伊半島アンカールート※



奈良県緊急輸送道路ネットワーク



辻堂バイパスを代替する緊急輸送道路がないため、途絶時には大きく迂回することを強いられる。

※紀伊半島アンカールートとは、京奈和自動車道、近畿自動車道紀勢線、国道168号及び国道169号で形成されている道路ネットワークの呼称であり、その形が船の錨(いかり)に似ていることから「アンカールート」と呼んでいます。

災害時の被災状況

平成29年10月の台風21号の被災状況 平成23年9月の紀伊半島大水害の被災状況



五條市生子では、大規模な土石流により、11日間の通行止めとなりました。



五條市大塔町辻堂地区では、大規模な斜面崩壊にともなう土石流が発生し、その復旧工事のため平成26年12月26日まで3年3ヶ月間の通行止めとなりました。



期待の声



五條市 太田 市長

五條新宮道路は、救急医療・災害時を支える「命の道」であり、地域住民に欠かせない「生活の道」です。大塔町辻堂～同堂平までの区間1.1kmが開通にすることにより、さらに災害時にも途絶することない安全かつ安定した交通路へと進化してきました。五條新宮道路の早期完成と紀伊半島全体の災害時における孤立地域の解消や救援物資の輸送にますます寄与することを期待しています。

課題

災害時の大幅な迂回

対策

バイパス整備

ストック効果

安全な通行の確保・迅速な復旧活動

救急医療施設へのスムーズなアクセス

- 紀伊半島内陸部の地域において、大けがや急病などで高度な救急診療が必要となる場合は、拠点となる医療施設で診察を受けることとなります。
- 五條新宮道路を整備することにより、救急医療施設へのアクセスの向上が図られ、**迅速な救急搬送**および**来院する患者への負担軽減**に貢献します。

病院へのアクセス道路の整備

◆十津川村から五條方面への医療ニーズ

至 御所市・葛城市・橿原市

十津川村の人工透析患者の通院先
(12名・平成28年5月現在)

十津川村の妊婦の健診受診場所
(12名・平成28年5月現在)

通院先	人数
南奈良総合医療センター	3
五條市の病院	1
葛城市の病院	1
新宮市の病院	7

通院先	人数
橋本市民病院	3
奥村マタニティクリニック	3
新宮市の病院	4
田辺市の病院	2

出典：十津川村資料

◆五條消防署大塔分署救急搬送状況

搬送状況

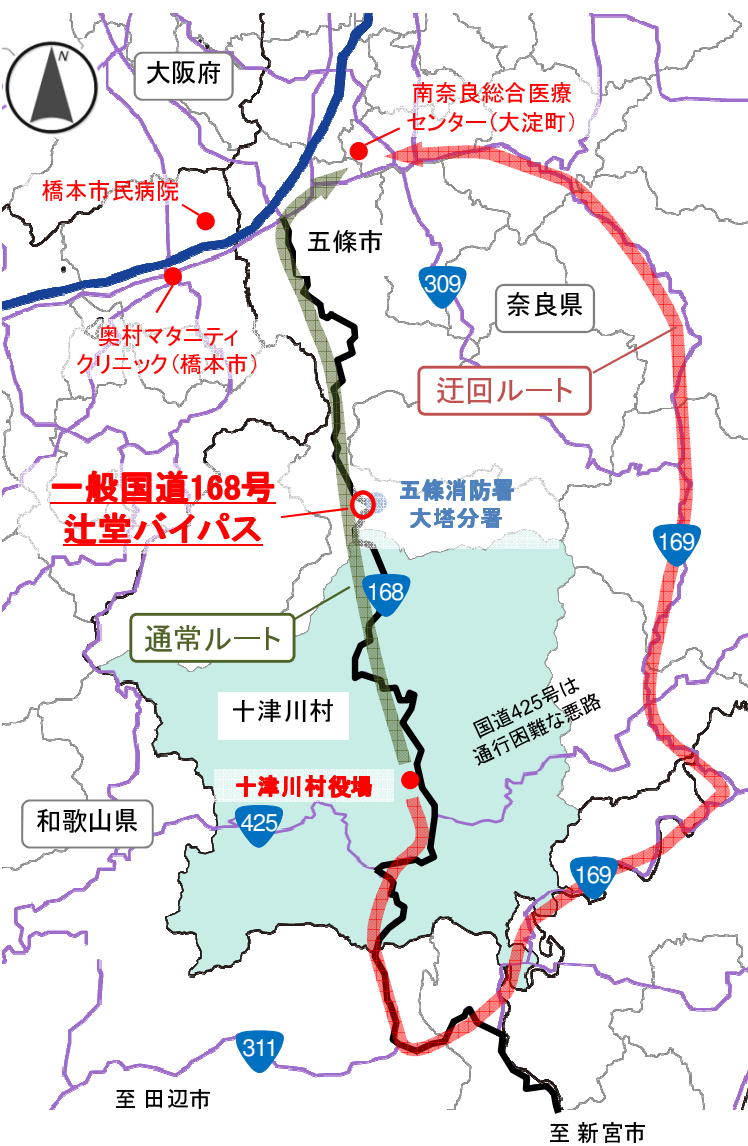
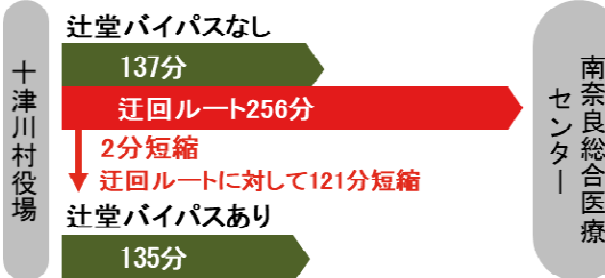
搬送件数が多い医療機関

(平成29年(10/24まで)) (平成29年(10/24まで))

出動件数	86件
搬送件数	77件

医療機関名	搬送件数(件)
南奈良総合医療センター	50
奈良県ドクターヘリ	11
済生会御所病院	4
奈良医大救命救急センター	4
その他	8
合計	77

【十津川村役場から南奈良総合医療センターまでの所要時間】



期待の声

五條消防署 大塔分署 搬送先はほとんど北側にあり、国道168号が通れないと完全に孤立してしまいます。辻堂バイパス区間は幅員が狭く、大型車がすれ違えずに渋滞ができています。また、カーブが多く隊員が車酔いしてしまうため、搬送中の車内での措置ができません。いつも繋がっており、安心できる道が完成し嬉しく思います。

課題

道路が狭く、対向が困難

対策

バイパス整備

ストック効果

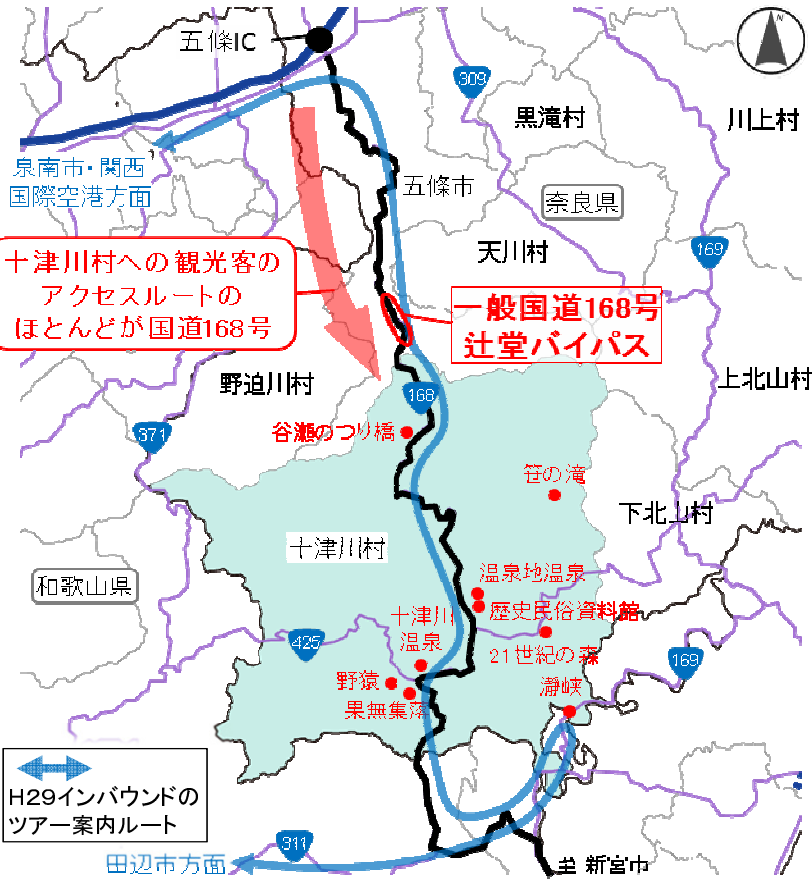
迅速な救急搬送・患者の負担軽減

県南部地域の観光の活性化

- 十津川エリアへの主要なアクセスルートは、一般国道168号です。
- 土砂崩れなどの通行止めになると観光客数は激減。復旧後も、観光客数の回復に時間が必要となります。
- バイパス整備によるアクセス向上により、**地域の活性化に貢献**します。

県南部地域へのアクセスルートが強化

◆十津川エリアの観光地と周遊ルート

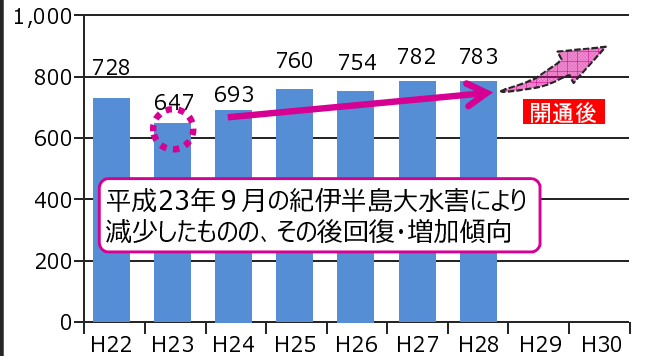


◆十津川村の取り組み

十津川村・大阪府泉南市・和歌山県田辺市で「超広域観光圏事業」に取り組んでおり、関西国際空港からのインバウンドのツアー誘致を図る。

【十津川村の観光入込客数の推移】

(千人/年)



【十津川村の外国人宿泊客数】

平成28年度	429人
※うちホテル昴(十津川温泉)宿泊者数	
平成26年度	38人
平成28年度	81人

ホテル昴では、外国人宿泊客数が、平成26年度の38人から平成28年度は81人へと**倍増**

出典：十津川村資料



期待の声

辻堂バイパス区間は、国道168号五條新宮道路の中でも一番狭隘な区間で大型車両が対向できないことから、村が進める林業の6次産業化による木材搬出など産業にも大きな影響を与えています。このバイパス開通により産業や観光・救急医療など地域の安全・安心と活性化に大いに期待するところです。



十津川村 更谷 村長



十津川村 田花 観光協会長

十津川村へ観光に来られるお客様から「十津川温泉郷は泉質が良く何度でも訪ねたい所ですが途中の道路が狭くて運転するのが怖い」と言う声が多く寄せられます。辻堂バイパスが開通することにより、一番狭い場所での対向がなくなり来訪しやすくなると期待しています。道路整備に大変感謝しています。

課題

通行止めで観光客激減

対策

バイパス整備

ストック効果

観光振興に寄与・地域の活性化